

チャンピオンの使命



大阪府

武部公英
(第54回優勝)

吉田大祐
(第50・51・52・55回優勝)

愛知県

目比正裕
(第42回優勝)

中野麻希
(第45回優勝)

高木裕太
(三重)

渡辺莉央
(群馬)

- 2面 理事会レポート
- 3面 INFORMATION
- 4~6面 第57回全日本選手権大会
- 7面 2019年度全日本
ナショナルチームメンバー
- 8面 ナショナルチーム通信、
ROUND1グラチャンinfo



文部科学大臣杯 第57回全日本ボウリング選手権大会

今年の全日本選手権、2人チーム戦で連覇を遂げた大阪府と愛知県の構成メンバーは、いずれもかつてのマスターズ戦チャンピオンです。ベテランたちがチームに絶大の安心感を与え、大会最初の種目を勝ち取ったことが、団体総合優勝に至る勢いを生んだことでしょう。そのマスターズ戦では今回、20歳と17歳という若き王者が誕生しました。「勝ち方を示す」のはチャンピオンの使命。高木と渡辺も、新たなスタートラインに立ちました。

HERE IS CHAMPION OF CHAMPIONS.

NHK杯

第53回全日本選抜
ボウリング選手権大会
2019.5.17(金)-19(日)

会場 新狭山グランドボウル
埼玉県狭山市新狭山1-1-9
<http://www.grandbowl.jp/shinsayama/>

主催/公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援/NHK、株式会社NHKグローバルメディアサービス、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人埼玉県体育協会、狭山市、狭山市教育委員会、狭山体育協会、埼玉県ボウリング公認競技場協議会
特別協賛/ファイテン株式会社
協力/公益社団法人日本ボウリング場協会、新狭山グランドボウル
主管運営/埼玉県ボウリング連盟

新年度の方針・事業計画・収支予算を決定

2018年度第4回理事会



2018年度第4回理事会が3月21日(木・祝)に愛知・稲沢グランドボウルで開催された。

年度末の理事会定例事項である次年度の方針・事業計画、収支予算を審議し、それぞれ原案どおり全会一致で可決しました。また2019年度の事業における役員・派遣計画を諮り決定。新年度を迎える準備を整えました。

公認レーン検査員制度の制定に伴い「ボウリング施設設備・及び競技用具認証規程」の改定を審議、決定しました。

報告事項として、内閣府による運営組織と事業活動状況に関する立入検査を昨年11月に終了したこと、業務執行理事の職務状況に関する報告がありました。

昨年8月に発足し、北川会長が共同代表を務める日本ボウリング機構(JBO)については、北川会長が団体概要と2019年度の事業計画を理事に報告し協力を呼びかけました。

各委員会からの活動状況報告と、JBC事務局の移転に関する説明、その他意見交換が行われました。

2019年度方針

2018年8月、国内8団体で結集し「日本ボウリング機構(JBO)」が発足しました。日本ボウリング界をより活性化するために関係団体が手を携える体制が整い、2019年度は具体的活動を開始する年となります。JBOはボウリングを、ボウラーを「支える」立場となり、また「見る」側面をも伸ばす役割も担います。

時を同じくして日本代表のアスリートは、第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)に挑み、男子トリオ戦の連覇、女子マスタースターズ戦の初優勝を挙げました。第15回アジアシニア選手権大会における日本勢の活躍もありました。国内トップレベルの競技力向上が実現し、ボウリングを「する」人々のモチベーションを拡大する成果を上げることでできました。

これらの成果を引き継ぎ、JBCは2019年度も「スポーツボウリングの普及強化」を柱に運営を進めます。あらゆる人々がボウリングと出会い、より深くボウリングを楽しんでもらう機会を創出し、対象と目標を合致した最

適のサポート体制を整えます。そしてJBOに於いては、JBCは主要な参画団体として、また国内競技統括団体として日本ボウリング界が抱える課題に積極的に取り組み、それらの解決に邁進いたします。

1・アスリートボウラーを頂点としたスポーツボウリングの普及強化

(1)全日本ナショナルチーム、全日本ユースナショナルチームの国際的競技力の向上と国際大会における成績目標必達

●JOC選手強化事業を活用した強化合宿等の実施・合宿内におけるアスリート倫理遵守の教育(アンチドーピング、スポーツインテグリティ等)

●World Bowling(世界ボウリング連盟)・アジアボウリング連盟等主催による公式国際大会への選手派遣とメダル獲得のための強化策実施

(2)次世代トップアスリートとなり得る選手の発掘育成

●地域における有望選手発掘事業(ジュニアジャパン選考会)

●ジュニアジャパン選抜選手強化合宿による育成促進

(3)ボウリング指導者資格制度の全国的な浸透を図る

●日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ資格養成事業の実施

●JBC・USBCコーチ制度における指導メソッドの普及

●有資格者の指導力向上を目的とした研修事業の実施

●JBCアカデミックスタッフによる技術解析と強化策の開発

2・多様性を受け入れ、あらゆる人々にボウリングとの接点を提供する

(1)幼児・児童を対象としたボウリングとの出会いの創出

●全日本小学生競技大会・都道府県予選会兼指導会の内容充実

●JBOジュニアボウリングキャラバンへの参画

(2)高校総体(インターハイ)正式種目採用を柱としたジュニア層の競技環境充実

●都道府県高体連への加盟推進支援

●ジュニア対象大会の活性化(協会主催大会、高体連関係大会)

(3)大学におけるボウリングの多角的展開

●公益社団法人全国大学体育連合とのタイアップによる大学授業採用推進活動

●ジュニア選手の進学促進による全日本学生連合の加盟

校・選手増強と競技力向上

●実業団連合との交流による競技活性化と卒業後の競技環境獲得支援

(4)成人スポーツとしてのボウリング普及促進

●各都道府県連盟、支部クラブにおける積極的な個人会員増強活動を推奨

●実業団参入企業の増加および会員増強

(5)シニアボウリングアスリート像の創出

●シニア層におけるボウリングイメージの刷新(余暇活動からアスリートスポーツへ)

(6)パラスポーツとしてのボウリング普及促進

●視覚障害者ボウリング競技の認知向上支援

●障害者対象のボウリング大会開催支援

(7)多様性の受け入れ

●愛好者の開拓、受容によるボウリングファン層の拡大

●あらゆる人を対象としたスポーツボウリングとの出会いの創出(ボウリング教室キャラバン隊)

3・日本ボウリング界活性化に向けた協会外との連携強化

(1)一般ボウラー、プロボウラーとJBC会員ボウラーの競技交流促進

●ROUND1グランドチャレンジャーボウリング

2019の開催

改定を審議、決定しました。

報告事項として、内閣府による運営組織と事業活動状況に関する立入検査を昨年11月に終了したこと、業務執行理事の職務状況に関する報告がありました。

昨年8月に発足し、北川会長が共同代表を務める日本ボウリング機構(JBO)については、北川会長が団体概要と2019年度の事業計画を理事に報告し協力を呼びかけました。

各委員会からの活動状況報告と、JBC事務局の移転に関する説明、その他意見交換が行われました。

2018年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

2019年3月29日現在

地区名	連盟	競技会		リーグ
		公認件数	開催実数	
北海道地区	北海道	33	125	6
	青森	33	46	
	岩手	22	102	
	宮城	29	141	
	秋田	18	48	
東北地区	山形	24	88	3
	福島	19	47	
	茨城	18		
	栃木	11	61	1
	群馬	19	83	8
関東地区	埼玉	38	173	
	千葉	26	113	23
	東京	24	86	16
	神奈川	31	109	37
	梨	17	72	
北信越地区	新潟	21		
	長野	11	61	2
	富山	22	141	2
	石川	22	59	26
	福井	9	2	
東海地区	静岡	74	263	24
	愛知	59	298	3
	岐阜	32	128	
	三重	38	91	
	滋賀	38	209	
関西地区	滋賀	55	184	14
	京都	36	49	14
	大阪	26	79	32
	兵庫	18	18	
	和歌山	15	21	
中国地区	鳥取	14	32	3
	島根	9	40	1
	岡山	51	148	6
	広島	15	26	6
	山口	13	31	25
四国地区	香川	19	46	2
	徳島	13	47	1
	愛媛	21	58	16
	高松	1	9	
	福岡	50	163	89
九州・沖縄地区	福岡	10	21	13
	佐賀	35	77	45
	熊本	23	49	82
	大分	18	14	38
	宮崎	28	120	17
全日本学生連合	児島	23	103	29
	鹿野	25	94	6
総計		1,228	3,979	584

2019年度事業計画

●JBO主催事業との連動(グローバルーナメント企画、新規トーナメント企画)

(2)ボウリング場減少傾向における競技フィールドの確保

●新規公認競技場の積極開発

●公認レーン検査員制度の開始による各競技場との関係強化

●JBC直轄の競技場の新設

●ボウリング界が抱える課題の抽出と対策実施

●オリピック・パラリンピック種目化を後押しする国内機運醸成

●国内競技レベルの統一に向けた折衝

●アマチュアおよびプロライセンス保持の日本アスリート間の海外進出促進と課題解決

●多角的な広報活動の実施(情報発信、メディアとの連携、プロモーション)

この方針の実施にあたり、内閣府、総務省、文部科学省、スポーツ庁をはじめとする各省庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、一般財団法人地域活性化センター、ボウリング業界、特別協力各社との連携を密にし、役員はもとより会員の皆さんと共に方針の達成に邁進します。

5・公認ドリラー養成、認定事業

上記事業に基づき次の計画を実施、達成する。

○スポーツボウリングの普及、育成、強化

○ジュニアボウラーの発掘、育成、強化

○ボウリング界の組織再編に関する事業の推進

○未加盟高体連への加盟促進

○マスメディアとの連携強化とマーケティングの開発

○サポート協賛企業の開発

○ボウリング競技の普及振興に伴う諸事業の推進、実施

○日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ(1~4)並びにJBC・USBCコーチ養成講習会の実施、指導

○公認審判員の養成講習会の開催

○各種国際大会へ選手団の選考と派遣

○全日本ナショナルチーム並びに全日本ユースナショナルチームの国際競技力向上のための強化事業

○地域における有望選手発掘のためのジュニア認定会の開催

○ジュニアジャパン合宿の開催

○ボウリング教室(キャラバン)の開催

○公認ドリラー有資格者研修会の開催

○ボウリング公認競技場の検査、認証

○用具(公認ボール)等の検査、認証

○ボウリング競技の公認及び記録集計、表彰

○その他、理事会、各委員会の決定事項による事業の推進、実施

4・公認ボール検査員養成、認定事業

3・公認審判員養成、認定事業

2・日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ(1~4)、JBC・USBCコーチ養成認定事業

1・公認ドリラー養成、認定事業

賛助会員、特別法人・個人会員紹介

2019年3月1日以降登録者

▽滋賀県 橋本義和 (敬称略)

砂糖は、脳とカラダに大切なエネルギー

公益社団法人 糖業協会は、健康スポーツ ボウリングを応援します。



砂糖は、脳とカラダに必要な栄養

参加人口 No.1 スポーツ ボウリング

お砂糖 プラスで賢く幸せ気分!

砂糖で元気エネルギー

砂糖で元気エネルギー

砂糖で元気エネルギー

公益社団法人 糖業協会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-3

TEL: 03-3215-0661 FAX: 03-3215-0666



砂糖は、脳とカラダに必要な栄養

参加人口 No.1 スポーツ ボウリング

お砂糖 プラスで賢く幸せ気分!

2019年度 事業日程

2019/3/27

Table of 2019 fiscal year activities with columns for date, event name, location, and venue. Includes events like the 20th All-Japan Youth Sports Meeting and various regional championships.

Table of activities for the fiscal year ending in 2020, including regional and national events.

Table of regional joint activities for 2019, categorized by region: Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kinki, Chugoku, Shikoku, and Kyushu.



2018年度全日本ジュニア強化コーチ研修会が、2月23日(土)に大阪・神崎川グランドで、24日(日)に東京・シチズンホールで開催されました。

協会の認定部会員の日坂義人ドリラーが「ボールの特性とコンディショニングにあわせた選択」について、全日本ナショナルチームの下部監督が選手に合わせた指導方法について講義を行いました。

JBC公認ドリラー制度は2018年度から資格更新のための義務研修会実施をスタート。2月8日(金)に東京・ポートホール、3月7日(木)に大阪・神崎川グランドで開催されました。

この義務研修会は3年間に1回受講することが資格更新条件となっています。2019年度は愛媛、山形、富山で開催されます。

ドリル技術の向上を目的とした「ブロンズコース」、さらなるスキルアップを目指す「シルバーコース」の有資格者研修会も開催します。

4月20日(土)21日(日) JBC公認第3種審判員認定大会。4月&5月&6月のイベントカレンダー。

Table of regional joint activities for 2019, continuing from the previous table, listing events across various regions.

全日本強化コーチ研修会を開催

2018年度全日本ジュニア強化コーチ研修会が、2月23日(土)に大阪・神崎川グランドで、24日(日)に東京・シチズンホールで開催されました。



△義務研修会 8月5日(月) 松山中央ホール (愛媛県松山市) 8月20日(火) 山形ファミリアホール (山形県山形市) 8月27日(火) 富山山形ホール (富山県富山市) ●参加費(全会場共通) 3000円

△ブロンズコース 8月6日(火)・7日(水) 松山中央ホール (愛媛県松山市) 参加費3000円 (1日のみ参加の場合は1500円) 申込締切 7月5日(金) △シルバーコース 12月9日(月)・10日(火) スポルト八景ホール (神奈川県横浜市) 参加費5000円 (1日のみ参加の場合は2500円) 申込締切 11月8日(金)

1コースはブロンズ資格取得から2年経過後の方が受講対象です。

Table of regional joint activities for 2019, continuing from the previous table, listing events across various regions.

大阪女子圧勝で連覇 愛知男子貫禄のV10



女子は大阪府 2年連続7度目の優勝



男子は愛知県が2年ぶり10度目の制覇



日本スポーツ賞 東京運動記者クラブ表彰 選手に伝達授与



アジア大会男子トリオ戦金メダルの安里・佐々木・和田

アジア大会女子マターズ戦メダルの石本



文部科学大臣杯第57回全日本選手権大会が3月21日(木)から24日にかけて、愛知・稲沢市(トポル公認No.150-064)で開催された。全回の都道府県・学生連合が所属するチームを編成して男女それぞれ団体総合優勝の座を争い、男子は愛知県が2年ぶり10度目、女子は大阪府が7年連続7度目の優勝で、文部科学大臣杯を獲得した。



山田選手が選手宣誓

文部科学大臣杯を返還する大阪府



女子団体総合



男子団体総合

団体総合
男女別に4種目の入賞ポイント合計で、昨年度優勝の大阪府が、男子は昨年度優勝の愛知県、女子は昨年度優勝の大阪府が、初の種目2人チーム戦でポイント対象者が



男子2人チーム戦



女子2人チーム戦

男子2人チーム戦
愛知C1(佐藤・林)が前半、佐藤が1、林が2と抜群のチームワークで4-0をマークした。2位の神奈川A1(土方・坂本)は40ピン差の逆転劇を演じた。結果は、第1シフトでは、愛知A2(吉田・日比)が優勢的なスコアを叩き出し、3ゲームも入替した。スコアを3-0と伸ばし、後半もスコアを3-0とした。前半終了時点で1-0とリードした。逆転を遂げた。格の差を見せつけるような逆転劇だった。

女子2人チーム戦
昨年度の優勝者、大阪A1(中野・武部)が安定のゲームメイク。前半は4-0、4-4、4-3と伸ばした。後半は、池内・岩田と愛知A3(後・岩田)は振るわず、愛知A3もスコアを3-0と伸ばしきれなかった。愛知A1(山田・水谷)が1-0と打ち上げ、トータルスコアで暫定トップに立った。第1シフトの大阪A1は、1-0を上回るトップに立てる状況。中野が6-1、武部が3-4としっかりプレーした。スコアをまとめて逆転を果たした。

女子3人チーム戦
第1シフトの大阪A1は、1-0を上回るトップに立てる状況。中野が6-1、武部が3-4としっかりプレーした。スコアをまとめて逆転を果たした。

個人総合
男子は、2人チーム戦・6人チーム戦の優勝を挙げた吉田(祐)愛知が、810ポイントで、愛知が好調ぶりを昨年に続いての1位。6人チーム戦優勝の神戸(野村・津野)が2位の野村(津野)が3位の野村(津野)が4位の野村(津野)が入った。

個人総合
男子は、2人チーム戦・6人チーム戦の優勝を挙げた吉田(祐)愛知が、810ポイントで、愛知が好調ぶりを昨年に続いての1位。6人チーム戦優勝の神戸(野村・津野)が2位の野村(津野)が3位の野村(津野)が4位の野村(津野)が入った。

個人総合
男子は、2人チーム戦・6人チーム戦の優勝を挙げた吉田(祐)愛知が、810ポイントで、愛知が好調ぶりを昨年に続いての1位。6人チーム戦優勝の神戸(野村・津野)が2位の野村(津野)が3位の野村(津野)が4位の野村(津野)が入った。

女子3人チーム戦
第1シフトの愛知は後半3-0で神奈川を上回るスコアを叩き出した。後半は、池内・岩田と愛知A3(後・岩田)は振るわず、愛知A3もスコアを3-0と伸ばしきれなかった。愛知A1(山田・水谷)が1-0と打ち上げ、トータルスコアで暫定トップに立った。

女子6人チーム戦
神奈川A(藤原・野野・佐藤)が後半3-0で神奈川を上回るスコアを叩き出した。後半は、池内・岩田と愛知A3(後・岩田)は振るわず、愛知A3もスコアを3-0と伸ばしきれなかった。愛知A1(山田・水谷)が1-0と打ち上げ、トータルスコアで暫定トップに立った。

女子6人チーム戦
神奈川A(藤原・野野・佐藤)が後半3-0で神奈川を上回るスコアを叩き出した。後半は、池内・岩田と愛知A3(後・岩田)は振るわず、愛知A3もスコアを3-0と伸ばしきれなかった。愛知A1(山田・水谷)が1-0と打ち上げ、トータルスコアで暫定トップに立った。

女子6人チーム戦
神奈川A(藤原・野野・佐藤)が後半3-0で神奈川を上回るスコアを叩き出した。後半は、池内・岩田と愛知A3(後・岩田)は振るわず、愛知A3もスコアを3-0と伸ばしきれなかった。愛知A1(山田・水谷)が1-0と打ち上げ、トータルスコアで暫定トップに立った。

スポーツ振興基金
この大会は、スポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。



男子個人総合



女子個人総合



優勝の愛知



競り勝った神奈川



男子6人チーム戦



女子6人チーム戦



学生連合が逆転



男子3人チーム戦

文部科学大臣杯 第57回全日本選手権大会

半1・2人目にもスコアを伸ばし、3-1とリードした。大阪A1(中野・武部)が折り返した。3種目制覇を狙った大阪だったが、後半、第1シフトでトップに立ったのは福山A(山口・根岸・川口・山本)が1-0とスコアを叩き出した。3種目制覇を狙った大阪だったが、後半、第1シフトでトップに立ったのは福山A(山口・根岸・川口・山本)が1-0とスコアを叩き出した。

下克上に成功!



男子マスターズ戦



女子マスターズ戦

男子マスターズ戦

日比正裕(愛知)が第1シリーズで741をマークし、第2シリーズでも730と日比だったが、4ゲーム目にパーフェクトの高木裕太(三重)が10ピン上回ってト

ップに立った。高木は後半もビッグゲームを連発。第3シリーズは333・246・252と、全体的に唯一700台に乗せた。最終3ゲームを残して高木は103ピンのリード。元優勝者の新畑雄飛(福井)や武



渡辺莉央 高2



高木裕太 20歳

高木裕太		男子選手権者	
主な戦績	第71回岩手国体 少年男子団体戦第1位 第70回和歌山国体 少年男子団体戦第2位	三重県	20歳
使用ボール	Idol Lime Green(15p4oz)		
公認ドライバー	岩切純純 (公認No. 1003-23)		

渡辺莉央		女子選手権者	
主な戦績	第73回福井国体 少年女子個人戦第1位 第42回全日本高校選手権大会 優勝	群馬県	17歳
使用ボール	Super Sonic(15p)		
公認ドライバー	福田尊仁 (公認No. 1807-10)		

本真明(大阪)が順位を上げてきたが、高木は最終ゲームを300で締めくくり、初のビッグタイトル獲得を決めた。大井(岡山)が268でスタートダッシュを決めた。第1シリーズは736で、2位の竹川ひかる(岐阜)に65ピン差をつけた。竹川と5ピン差の3位につけていた谷原美来(岐阜)は第2シリーズ2度の250UPで714をマークすると、大林を10ピン上回って首位ターンした。第3シリーズで谷原は612に留まるも、トータル1991でトップを維持。大林が15ピン差で谷原に続いた。3位には中野麻希(大阪)が浮上し大林とは8ピン差。竹川もさらに7ピン差につけた。そしてこのシリーズで700UPした渡辺莉央(群馬)は、竹川と5ピン差の5位まで順位を上げると、最終シリーズゲーム目で215とし2位につけた。トップの大井は2ゲーム目の224で渡辺を39ピンリードしたが、最終ゲームで渡辺は245。最後の最後で逆転した。渡辺は昨年、国体と

女子マスターズ

本真明(大阪)が順位を上げてきたが、高木は最終ゲームを300で締めくくり、初のビッグタイトル獲得を決めた。大井(岡山)が268でスタートダッシュを決めた。第1シリーズは736で、2位の竹川ひかる(岐阜)に65ピン差をつけた。竹川と5ピン差の3位につけていた谷原美来(岐阜)は第2シリーズ2度の250UPで714をマークすると、大林を10ピン上回って首位ターンした。第3シリーズで谷原は612に留まるも、トータル1991でトップを維持。大林が15ピン差で谷原に続いた。3位には中野麻希(大阪)が浮上し大林とは8ピン差。竹川もさらに7ピン差につけた。そしてこのシリーズで700UPした渡辺莉央(群馬)は、竹川と5ピン差の5位まで順位を上げると、最終シリーズゲーム目で215とし2位につけた。トップの大井は2ゲーム目の224で渡辺を39ピンリードしたが、最終ゲームで渡辺は245。最後の最後で逆転した。渡辺は昨年、国体と

文部科学大臣杯 第57回全日本ボウリング選手権大会 成績表

2019年3月21日(木・祝)~24日(日) 愛知県・稲沢グランドボウル

参加総数 40団体 (男子349名・女子217名 合計566名)

文部科学大臣杯 (団体総合得点)

男子	女子
優勝 愛知県 28点 2年ぶり10度目	優勝 大阪府 24点 2年連続7度目
準優勝 学生連合 23点	準優勝 神奈川県 18点
第3位 神奈川県 11点	第3位 群馬県 13点

マスターズ戦

男子 (12G)	女子 (12G)
優勝 高木裕太 (三重) 2,887 初優勝	優勝 渡辺莉央 (群馬) 2,613 初優勝
準優勝 新畑雄飛 (福井) 2,779	準優勝 大林令奈 (岡山) 2,602
第3位 武本真明 (大阪) 2,714	第3位 谷原美来 (岐阜) 2,580
第4位 齋藤翔 (愛知) 2,642	第4位 竹川ひかる (岐阜) 2,530
第5位 中川貴史 (熊本) 2,633	第5位 石本美来 (学生連合) 2,502
第6位 日比正裕 (愛知) 2,613	第6位 中野麻希 (大阪) 2,501

6人チーム戦

男子 (6x6G)	女子 (6x6G)
優勝 愛知A 高平沙也斗・齋藤翔・吉田大祐 8,003	優勝 神奈川A 藤原聖佳・菅野沙織・佐藤悠里 7,238
準優勝 学連A 野村経博・川崎未来・石川新・八畷良太 7,748	準優勝 和歌山A 横山実美・柴田秀美・浅賀恵・村上知子 7,196
第3位 神奈川A 山下諱也・佐古健太郎・田中雄也 7,728	第3位 福岡A 山口菜穂・山本菜穂・安里紗希 6,979
第4位 学連C 羽ヶ崎匠海・土方捷・川田正二 7,609	第4位 大阪A 幸木百合菜・長尾梨沙・坂井百望 6,892
第5位 和歌山A 高橋晃大・山本青空・工藤陽一郎 7,584	第5位 京都A 中野麻希・石本恵梨奈・武部公英 6,850
第6位 学連B 今井康大・竹内雄大・藤原智也 7,576	第6位 学連A 小島雄稀・京井朋子・庭月野恵 6,845

3人チーム戦

男子 (3x6G)	女子 (3x6G)
優勝 学連A1 八畷良太・山下諱也・石川新・田中雄也 3,980	優勝 大阪A1 中野麻希・石本恵梨奈・武部公英 3,801
準優勝 長崎A1 原口俊馬・徳久恵大・山下知且 3,976	準優勝 神奈川A1 藤原聖佳・菅野沙織・佐藤悠里・村上知子 3,737
第3位 学連A2 野村経博・川崎未来・佐古健太郎 3,949	第3位 千葉A1 水野あやか・須藤真海・藤田梨聖 3,713
第4位 和歌山A1 安里秀美・渡邊玲史・和田翔吾 3,943	第4位 学連A1 石本美来・村田麻莉亜・内田祐希 3,709
第5位 熊本A1 藤永北斗・中川貴史・吉本隆夫 3,923	第5位 岐阜A1 入江菜々美・谷原美来・竹川ひかる 3,688
第6位 愛知A1 齋藤翔・高平沙也斗・吉田大祐 3,898	第6位 福岡A1 山口菜穂・向谷優那・松尾奈美子 3,667

2人チーム戦

男子 (2x6G)	女子 (2x6G)
優勝 愛知A2 吉田大祐・日比正裕 2,874	優勝 大阪A1 中野麻希・武部公英 2,570
準優勝 愛知C1 佐藤宇宙・林元輝 2,863	準優勝 愛知A1 山田悠歌奈・水谷秋穂 2,500
第3位 神奈川A3 羽ヶ崎匠海・川田正二 2,758	第3位 愛知A3 林育美・岩元美咲希 2,463
第4位 愛知A1 齋藤翔・高平沙也斗 2,739	第4位 群馬A2 渡辺莉央・金子萌夏 2,450
第5位 大阪A1 武本真明・守屋達斗 2,729	第5位 静岡A1 鈴木波流・久松美穂 2,439
第6位 神奈川A1 土方捷・佐々木智之 2,676	第6位 神奈川A1 菅野沙織・佐藤悠里・村上知子 2,431

個人総合

男子 (18G)	女子 (18G)
第1位 吉田大祐 (愛知) 4,159	第1位 藤原聖佳 (神奈川) 3,839
第2位 野村経博 (学生連合) 4,080	第2位 石本美来 (学生連合) 3,749
第3位 中川貴史 (熊本) 4,078	第3位 中野麻希 (大阪) 3,739

ハイゲーム・ハイシリーズ

男子	女子
ハイゲーム 中川貴史 (熊本) 300	ハイゲーム 中島梨沙 (東京) 279
千田祐太 (岩手) 300	森内菜摘 (徳島) 279
長谷川勇次郎 (鳥取) 300	水谷秋穂 (愛知) 279
西山響 (学生連合) 300	
吉田敦 (愛媛) 300	
ハイシリーズ 坂本健治 (京都) 823	ハイシリーズ 石本美来 (学生連合) 742

中川貴史		パーフェクト	
使用ボール	Idol Lime Green(15p1oz)	熊本県	40歳
公認ドライバー	平井誠治 (公認No. 0758-43)		
千田祐太		パーフェクト	
使用ボール	Black Jackal(15p)	岩手県	16歳
公認ドライバー	佐藤幸平 (公認No. 1454-03)		
長谷川勇次郎		パーフェクト	
使用ボール	Pure Cell(14p)	鳥取県	15歳
公認ドライバー	河津孝彦 (公認No. 1376-31)		
西山響		パーフェクト	
使用ボール	IQ Tour(15p3oz)	学生連合	19歳
公認ドライバー	丸達也 (公認No. B1831-02)		
吉田敦		パーフェクト	
使用ボール	Ultra Sonic(15p)	愛媛県	17歳
公認ドライバー	渡部幸星 (公認No. 1184-00)		

全日本高校選手権を制した「高校女王」。勢いのままに全日本も制したうえ、最年少優勝記録の更新にも成功した。第447・450号パーフェクトゲームとして認定された。



経済産業大臣杯 第45回 全日本実業団産業別ボウリング選手権大会

2019.5.31金 ▶ 6.2日

主催：公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援：公益財団法人 大阪府スポーツ協会
主管：全日本実業団ボウリング連合、大阪府ボウリング連盟

桜橋ボウル

〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-2 TEL 06-6345-2030



2019年度 全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバー

年齢は2019年4月1日現在

全日本ナショナルチーム

男子 9名



ささき ともゆき キャプテン
佐々木智之 (神奈川県)
湘南モノレール(株)
1986.7.18生 32歳

全日本ナショナルチーム

女子 11名



さとう ゆり キャプテン
佐藤 悠里 (神奈川県)
湘南ボウル
1991.10.1生 27歳



あさと しゅうさく バイスカプテン
安里 秀策 (和歌山県)
日高東宝ボウル
1991.7.2生 27歳



みやざわ たくや
宮澤 拓哉 (群馬県)
(公財)群馬県スポーツ協会
1996.10.21生 22歳



いまい ふたば バイスカプテン
今井 双葉 (熊本県)
フジクラブプレシジョン(株)
1996.5.16生 22歳



おおこうち みき
大河内未来 (福島県)
(株)アグリテクノ
1997.1.27生 22歳



いぐち りょうた
井口 遼太 (東京都)
駒澤大学3年
1998.7.24生 20歳



たかひら さやと
高平沙也斗 (愛知県)
岡崎サンボウル
1998.8.17生 20歳



きたむら めぐみ
北村 恵 (東京都)
立川スターレーン
1997.8.20生 21歳



かじた ひかる (三重県)
梶田ひかる
伊賀上野ケーブルテレビ(株)
1991.6.23生 27歳



つづみ ゆうき
堤 祐樹 (奈良県)
大和ガス(株)
1990.5.24生 28歳



はらぐち ゆうま
原口 優馬 (長崎県)
(株)チョープロ
1999.8.10生 19歳



いりえ ななみ
入江菜々美 (三重県)
(公財)三重県体育協会
1997.2.12生 22歳



たにはら みらい
谷原 美来 (三重県)
(株)百五銀行
1996.5.10生 22歳



とくひさ けいた
徳久 恵大 (長崎県)
長崎国際大学1年
2001.2.1生 18歳



むらはま ゆうき
村濱 裕紀 (沖縄県)
(株)エナジックインターナショナル
1989.11.14生 29歳



もりうち なつみ
森内 菜摘 (岐阜県)
岐阜女子大学1年
2000.10.2生 18歳



おおばやし れな
大林 令奈 (岡山県)
I PU環太平洋大学2年
1999.11.3生 19歳

全日本ユースナショナルチーム

男子 11名



はた ひであき
畑 秀明 (神奈川県)
湘南学院高等学校3年
2001.11.20生 17歳



いしもと みらい
石本 美来 (広島県)
JFEスチール(株)
1997.3.10生 22歳



いずむね しおん
泉宗 心音 (愛媛県)
聖カタリナ大学2年
1999.7.13生 19歳



かの なおと
菅野 直人 (神奈川県)
県立釜利谷高等学校2年
2002.4.18生 16歳



たかひら ゆうき
高平 雄生 (富山県)
不二越工業高等学校2年
2002.5.27生 16歳



こんどう まお
近藤 真桜 (群馬県)
太田市立西中学校2年
2006.1.16生 13歳



わたなべ りお
渡辺 莉央 (群馬県)
前橋育英高等学校3年
2001.10.27生 17歳



かつまた ななむ
勝又 七夢 (静岡県)
桐陽高等学校3年
2001.7.7生 17歳



はやし げんき
林 元輝 (愛知県)
県立杏和高等学校2年
2002.4.30生 16歳



こんどう まお
近藤 真桜 (群馬県)
太田市立西中学校2年
2006.1.16生 13歳



のなか みさき
野仲 美咲 (東京都)
堀越高等学校3年
2001.11.17生 17歳



さいとう しょう
齋藤 翔 (愛知県)
県立鳴海高等学校2年
2002.7.19生 16歳



たちばな かずき
立花 和貴 (兵庫県)
県立伊丹西高等学校3年
2001.5.5生 17歳



すわ しおり
諏訪 汐香 (神奈川県)
県立大師高等学校3年
2002.2.6生 17歳



すずき はる
鈴木 波流 (静岡県)
県立富岳館高等学校3年
2001.4.11生 17歳



あさかわ けいた
浅川 啓大 (兵庫県)
尼崎市立尼崎双星高等学校1年
2003.9.24生 15歳



しんしゃ たくみ
新舎 拓巳 (岡山県)
岡山理科大学附属高等学校3年
2001.4.28生 17歳



みずたに あきほ
水谷 秋穂 (愛知県)
県立中川商業高等学校2年
2002.9.10生 16歳



こんどう なほ
近藤 菜帆 (愛知県)
県立三好高等学校1年
2003.6.3生 15歳



ふくみつ りょう
福満 亮 (長崎県)
西海学園高等学校1年
2003.10.10生 15歳



ふじなが ほとと
藤永 北斗 (熊本県)
熊本国府高等学校2年
2002.4.15生 16歳



いしもと えりな
石本恵梨奈 (大阪府)
大阪成蹊女子高等学校1年
2003.4.9生 15歳



たちばな さき
立花 沙貴 (兵庫県)
県立宝塚東高等学校2年
2003.3.7生 16歳

2019 全日本ナショナルチーム 支援企業

オフィシャルスポンサー



オフィシャルサプライヤー



オフィシャルサポーター



2019 ナショナルチーム

支援企業は19社に

We are Team JAPAN ナショナルチーム通信

- ▽ファイテン株式会社
 - ▽日本航空(JAL)
 - ▽凸版印刷株式会社
 - ▽株式会社あおぞら銀行
 - ▽三井住友海上火災保険株式会社
 - ▽株式会社エナジックインターナショナル
 - ▽ウェルズホーム株式会社
 - ▽京王観光株式会社
 - ▽「オフィシャルサポーター」
 - ▽株式会社アメリカンボウリングサービス
 - ▽株式会社サンブリッジ
 - ▽レジェンドスター株式会社
 - ▽株式会社ハイ・スポーツ社
 - ▽株式会社ドーム(CUNDE RARMOUR)
 - ▽株式会社佐田(オータースーサダ)
 - ▽「オフィシャルサポーター」
 - ▽株式会社A-R
 - ▽株式会社イトダネーム
 - ▽株式会社アイワ徽章
 - ▽株式会社ファンブリック
 - ▽株式会社イシワタ
- 〈順不同・敬称略〉

宮澤拓哉が優勝



PBAクリスボール・オープン

PBAリージョナルツアー・アイキョーホームカップ PBAクリスボール・オープン(JBC協力)で、全日本ナショナルチームメンバーの宮澤拓哉(群馬)が優勝しました。3月2日(土)・3日(日)に千葉・アイキョーホールで開催されたPBAクリスボール・オープン(公競No.112・055)で開戦され、宮澤は予選準決勝とトップ通過を決めました。シードで迎えた優勝決定戦は、全日本ユースナショナルチームメンバーの畑秀明(神奈川)と対戦。266のビッグゲームで退けました。

2019 国体PRポスター

ユースナショナルチームの男子高校生がモデルに

10月に開催される第74回国体体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)ボウリング競技のPRポスターが完成しました。モデルを務めたのは全日本ユースナショナルチームメンバーの畑秀明(神奈川)、菅野直人(神奈川)、齋藤翔(愛知)です。シニアボウラーの間では「国体出場」が最上級のステータス。ユースナショナルチームのメンバーも県代表の座、そして国体優勝を目指す指して予選会に挑戦する立場です。ライバルであり仲間の3名が、あこがれの舞台で対決することを誓い合う、清々しいポスターになりました。



国体PRポスターは4月上旬から、全国のJBC公認競技場を中心に掲示されます。

オールジャパンレディストーナメント ツアー参加者募集中

ボウリングと観光を同時に楽しもう!



第32回オールジャパンレディストーナメントが6月7日(金)から9日(日)にかけて、愛媛・キスケKIT(公競No.1338・032)で開催されます。選手に大好評のオプションツアーを今年も実施します。今回は昔の面影を残す町家が立ち並ぶ「内子町」と、松山城天守からの絶景を楽しむツアーで、地元愛媛の郷土料理の夕食会も! 選手の方はもちろん、ご家族ご友人も一緒に参加ください。
【ツアー概要】
 期日 6月8日(土) ※大会2日目
 行程 12時30分キスケKIT出発
 ↓内子町散策↓松山城見学
 ↓夕食(愛媛郷土料理)コース
 ↓キスケKIT帰着(19時20分ごろ予定)
 参加費 1名7500円(税込)
 申込方法 選手の方は大会エントリーの際に所属連盟へお申込ください。ご家族・ご友人の方は同伴選手の方を通じてお申込ください。

ROUND1	ROUND2	ROUND3	ROUND4
4.5.6月の予選会カレンダー 4/15(土) エントリー締切 4/27(日) J28・栃木 ラウンドワンスタジアム 宇都宮店 4/27(日) J29・愛知 ラウンドワンスタジアム 中川1号線店 4/22(土) エントリー締切 5/11(日) J30・東京 ラウンドワンスタジアム 京都伏見店	5/11(日) J31・高知 ラウンドワン高知店 5/13(土) エントリー締切 5/25(日) J32・群馬 ラウンドワン前橋店 5/25(日) J33・神奈川 ラウンドワン横浜戸塚店 5/25(日) J34・大阪 ラウンドワン東大阪店 5/25(日) J35・岡山 ラウンドワン岡山妹尾店 5/25(日) J36・福岡 ラウンドワン博多・半道橋店 4/15(土) エントリー開始 6/15(日) J37・石川 ラウンドワンスタジアム 金沢店 6/15(日) J38・京都 ラウンドワンスタジアム 京都伏見店	6/15(日) J39・熊本 ラウンドワンスタジアム 熊本店 5/7(土) エントリー開始 7/6(日) J40・秋田 ラウンドワンスタジアム 秋田店 7/6(日) J41・大分 ラウンドワンスタジアム 大分店 5/20(土) エントリー開始 7/20(日) J42・青森 ラウンドワン青森店 7/20(日) J43・千葉 ラウンドワン習志野店 7/20(日) J44・和歌山 ラウンドワンスタジアム 和歌山店 5/27(土) エントリー開始 7/27(日) J45・大阪 ラウンドワンスタジアム 堺中央環状店	6/7(日) J46・愛媛 ラウンドワンスタジアム 松山市宮田町4

SPORTS ENTERTAINMENT ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING JAPAN 2019
 ラウンドワンランドチャンピオンシップボウリング

主催: JPA, JBC, WBF
 特別協賛: ROUND1
<http://www.jbc-bowling.or.jp/gcb2019/>

ALL JAPAN LADIES BOWLING TOURNAMENT

第32回オールジャパンレディストーナメント

2019.6.7 Fri-9 Sun

キスケKIT

〒790-0066 愛媛県松山市宮田町4
 TEL 089-998-3000

【主催】(公財)全日本ボウリング協会
 【後援(予定)】(公財)愛媛県スポーツ協会 松山市スポーツ協会
 (公社)日本ボウリング場協会
 女性スポーツ財団日本支部(WSFジャパン)
 【協賛(予定)】(株)サンブリッジ ミーフコーポレーション
 【主管】愛媛県ボウリング連盟